

II 調査概要

1. 調査の実施概要

(1) 調査目的

「第2次南魚沼市総合計画」は、計画期間を平成28年度から令和7年度までの10年間（2016年～2025年）とし、中間年となる令和2年度に基本計画を見直し、後期5年間につなげることをしています。本調査は、この見直しにあたり、これまでのまちづくりの取組への評価や、市政への意見などを市民に聞き、今後のまちづくりを進める上での基礎資料とすることを目的とします。

また、本調査はこれまで3回（平成21年、平成24年、平成26年）実施した「市民の声」アンケートを継承するもので、継続する設問では、市民意識などの経年変化を把握します。

(2) 調査方法

調査方法は以下のとおり。

調査地域	南魚沼市全域
調査対象	満20歳以上の市民
対象者数	2,500人（男女各1,250人）
抽出方法	令和元年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和元年7月5日（金）～7月31日（水）

(3) 調査項目

調査項目は、第2次総合計画によるまちづくりの取組に関するものを中心に、前回調査からの継続設問に加えて、新たな設問として「市報の読みやすさなどに関する評価」（問6②）、「地域づくり活動への関心度」（問8）に関するものを設けました。

また、調査の中心となる第2次総合計画の取組に関する設問では、2つの視点による回答を求めました。1つは33の施策項目の進捗状況に対する5段階による評価、もう1つは33項目のうち南魚沼市が今後特に力を入れて取り組むべき項目を5つまで選択するもので、これによって施策の現状評価と今後の方向性に関する市民意識の把握を図ることとしました。

(4) 配布・回収結果

調査票の回収結果は以下のとおりです。

配布数	2,500 通
回収数	1,197 通
回収率	47.9%

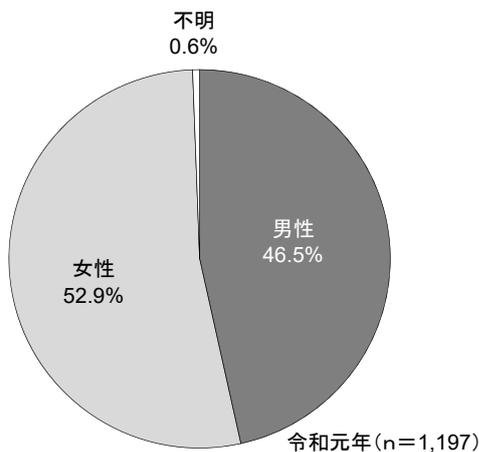
(5) 集計・分析方法と見方

- 各設問について、全体集計と、回答者の性別、年齢別、地域別（大和、六日町、塩沢）、職業別の4項目を中心とするクロス集計による分析を行います。
- これまでの調査から継続する設問について、全体集計結果の比較を行います。なお、本文中では平成26年調査を「前回」、平成24年調査を「前々回」、これらを合わせて「過去2回の調査」と示します。
- これまでの調査での設問と選択肢の表現等が異なる場合は、参考としてこれまでの全体集計結果を示します。
- 集計結果は、構成比率（%）での表示を主とし、一部で加重平均値を用います。本分析で用いる加重平均値は、点数化によって、各項目や属性間の比較を容易にするためのもので、点数化にあたっての重み付けの内容は、それぞれ該当図表の下に表示します。
- 集計結果における構成比率（%）の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、表示されている数値の合計が100.0%にならない場合があります。また、加重平均値は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示します。
- 図表の中で「n=」で示される数値は、各設問への回答者数を示し、構成比率（%）を求めるための母数としています。
- 各設問の集計結果について、職業別の学生（n=15 全体の1.3%）、家族構成別の兄弟姉妹と同居（n=16 全体の1.3%）は該当者が少ないため、それぞれの属性別では図表中への表示及び分析は行いません。

2. 回答者の属性

(1) 性別

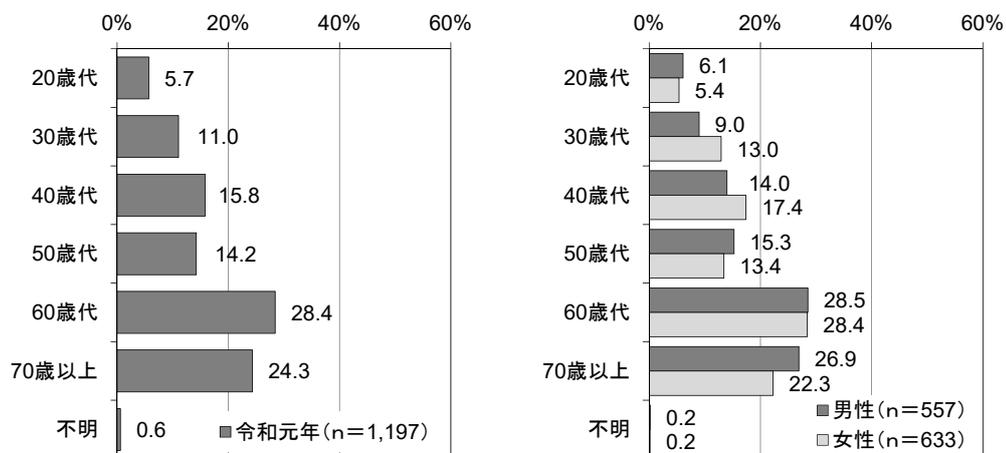
男性が46.5%、女性が52.9%で、女性が男性より6.4ポイント高くなっています。



(2) 年代

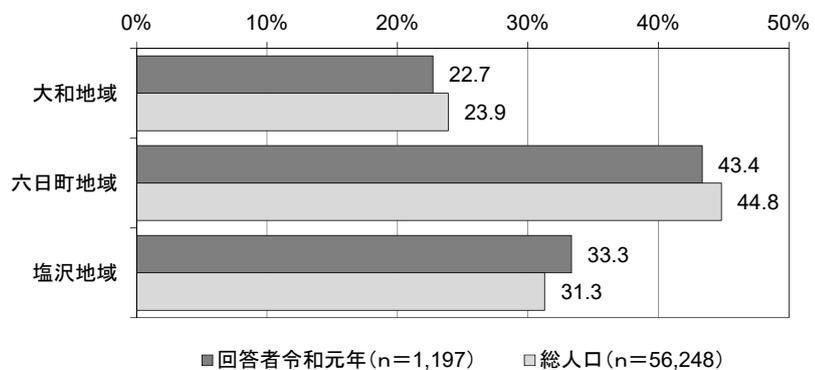
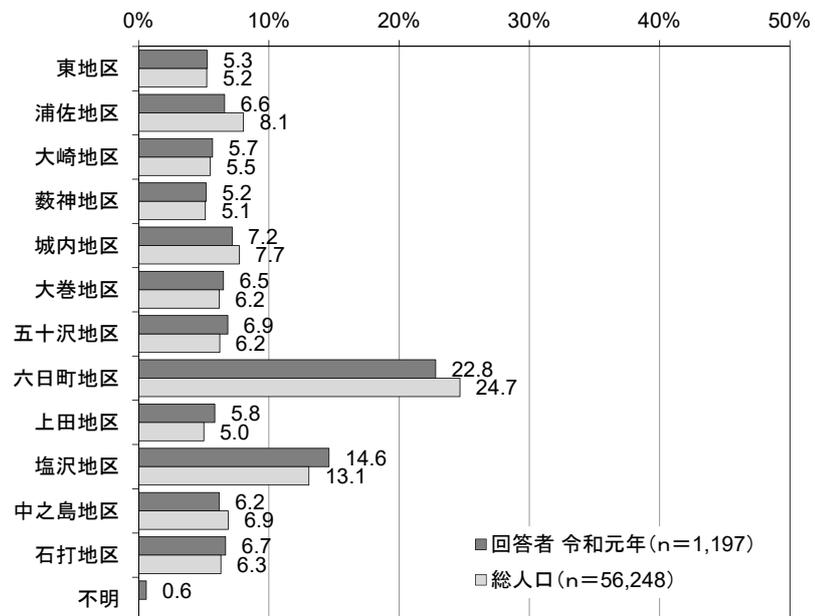
60歳代(28.4%)が約3割で最も高く、次いで70歳以上(24.3%)が2割以上、40歳代(15.8%)、50歳代(14.2%)、30歳代(11.0%)がそれぞれ1割以上となっています。

性別で見ると、男女とも60歳代(男性28.5%、女性28.4%)が最も高く、ほぼ同値となっています。次いで、男女とも70歳以上(男性26.9%、女性22.3%)が高くなっています。



(3) 居住地

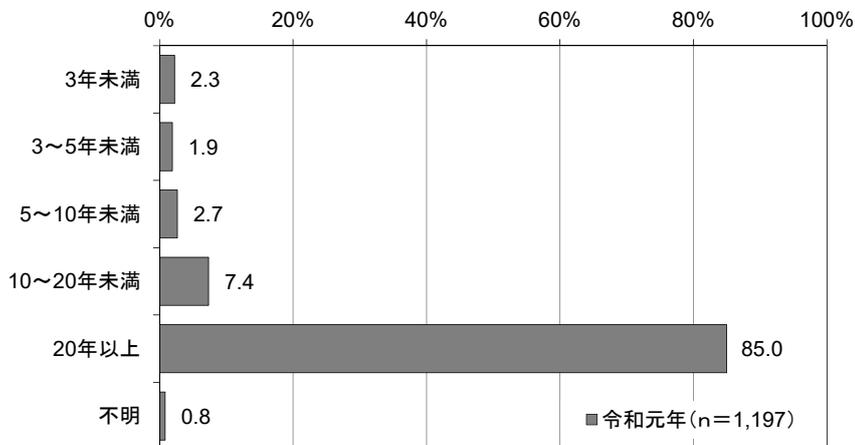
居住地について、12 地区別及び大和、六日町、塩沢の 3 地域別の割合は、行政区別総人口（令和元年 7 月末日・外国人住民を含む）による人口割合と同程度となっており、回答者の居住地は、市民の居住地の状況と概ね一致しています。



※総人口は南魚沼市行政区別人口集計表（外国人住民を含む）令和元年 7 月末日より

(4) 居住年数

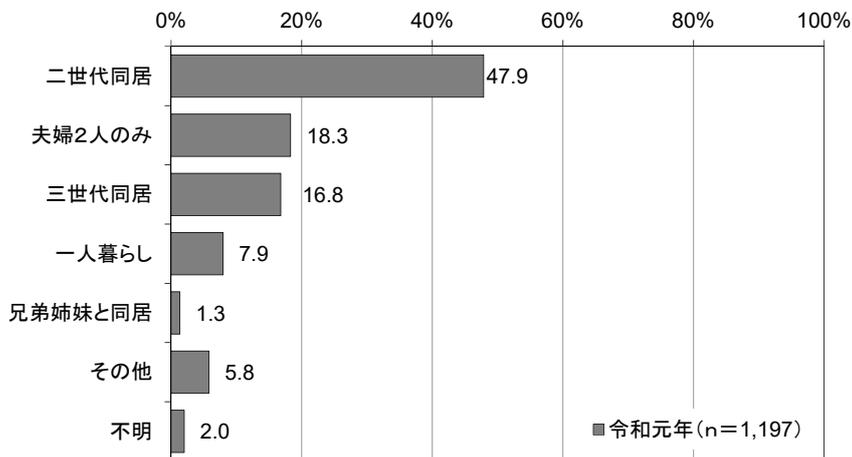
20年以上（85.0%）が8割以上で特に高くなっています。



(5) 家族構成

二世世代同居（47.9%）が約5割で最も高く、次いで夫婦2人のみ（18.3%）、三世世代同居（16.8%）がそれぞれ約2割となっています。

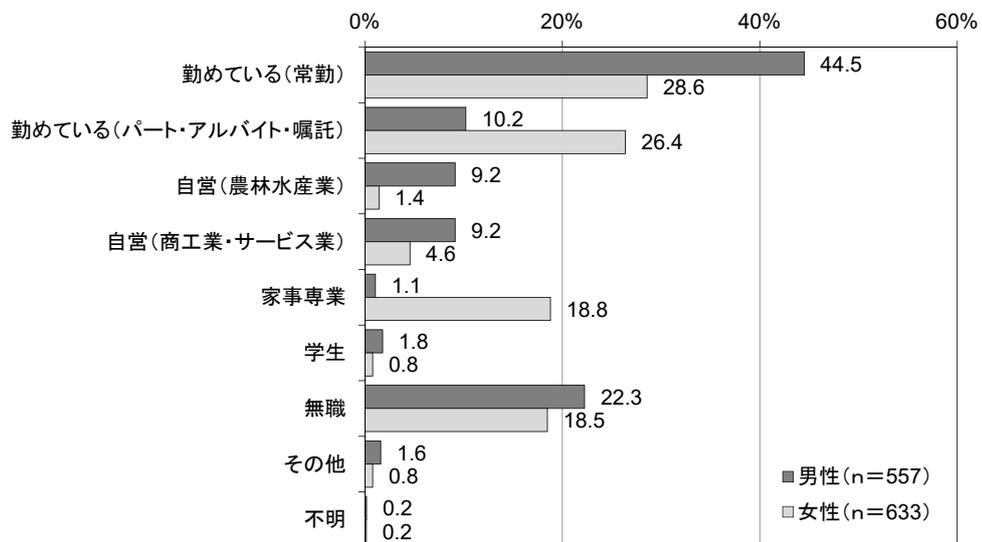
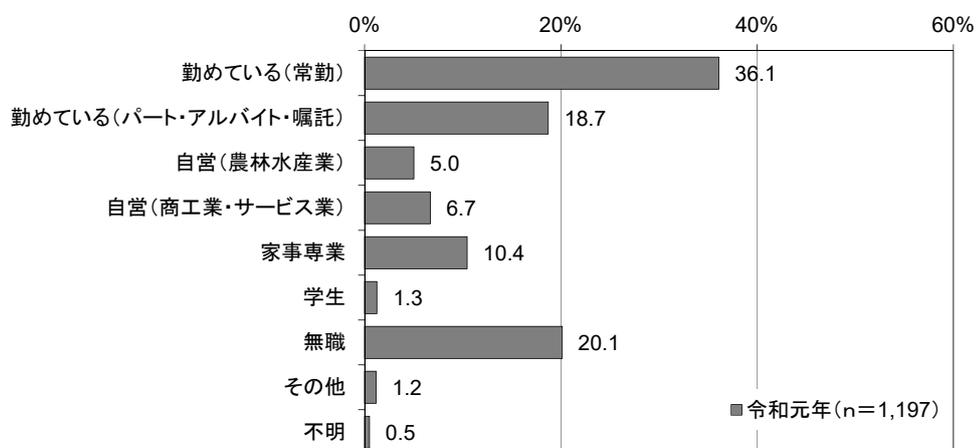
その他（5.8%）には、四世代同居（8件）が比較的多く見られます。



(6) 職業

勤めている(常勤)(以下「常勤」)(36.1%)が3割以上で最も高く、次いで無職(20.1%)が2割以上、勤めている(パート・アルバイト・嘱託)(以下「非常勤」)(18.7%)がそれぞれ約2割となっています。常勤と非常勤の合計値「勤めている」(54.8%)は5割以上となっており、回答者の半数以上が何らかの形態で雇用されています。

性別で見ると、男女とも常勤(男性44.5%、女性28.6%)が最も高く、男性は4割以上、女性は約3割となっています。次いで男性は無職(22.3%)、女性は非常勤(26.4%)がそれぞれ2割以上となっています。常勤と非常勤の合計値「勤めている」(男性54.7%、女性55.0%)は男女とも5割以上で同程度となっています。



※以下、「勤めている(常勤)」は「常勤」、「勤めている(パート・アルバイト・嘱託)」は「非常勤」、「自営(農林水産業)」は「農林自営」、「自営(商工業・サービス業)」は「商工自営」と表示

(7) 通勤・通学先

「南魚沼市内」(51.1%) が5割以上で最も高く、それ以外の通勤先はいずれも1割未満となっています。

有業者（職業別で常勤、非常勤、自営）と学生を合わせて見てみると、「南魚沼市内」(73.7%) が7割以上となっています。

